

令和元年度 第1回小牧市地域協議会推進市民会議 会議録

1 開催日時 令和元年5月16日(木)

午前10時～正午

開催場所 小牧市役所 東庁舎5階 大会議室

2 出席者

(1) 推進市民会議委員 17名

(欠席：稲垣委員、松浦委員、伊藤委員)

(2) 事務局 小塚市長公室長、入江地域協働担当次長兼主幹、松浦係長、岡田係長、長屋

(3) 傍聴者 1名

3 会議資料

会議次第

資料1 平成30年度 地域協議会推進市民会議 まとめ

資料2 地域協議会の設立・活動状況(平成30年度)

資料3 小牧市地域協議会に関する条例(案)について(パブリックコメント案)

資料4 地域協議会推進市民会議 スケジュール(予定)

4 会議内容

1 会長あいさつ

2 新任委員紹介

3 平成30年度 地域協議会推進市民会議 まとめ

4 地域協議会の設立・活動状況(平成30年度)

5 小牧市地域協議会に関する条例(案)について

6 地域協議会推進市民会議のスケジュールについて

7 その他

【事務局】

皆様、おはようございます。本日はお忙しい中、この場にお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。

ただいまより令和元年度第1回小牧市地域協議会推進市民会議を開催させていただきます。

会議に先立ちまして、皆様に市民憲章の唱和をお願いいたします。恐れ入りますが、ご起立をお願いします。お手元の次第の裏面をご覧くださいまして、私が先導いたしますので、後についてご唱和をお願いします。

〔小牧市民憲章 唱和〕

【事務局】

ありがとうございました。ご着席をお願いします。

本日の予定につきましては、お手元の会議の次第のとおりでございます。

本日の欠席の委員につきましては、稲垣委員、松浦委員、伊藤委員の3名でございます。

それでは、会議に入ります前に今年度の事務局の紹介をさせていただきます。

〔事務局 紹介〕

【事務局】

それでは、事務局を代表しまして小塚市長公室長よりあいさつをいたします。

【小塚市長公室長】

それでは、改めましておはようございます。本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

本年の4月の人事異動に伴いまして、協働推進課コミュニティ係を所管することになりました市長公室長の小塚と申します。よろしく願いいたします。

ご承知のとおり、地域協議会につきましては、現在市内16小学校区のうち8小学校区で設立されておりまして、それぞれさまざまな活動が行われているところであります。

今回の会議では、昨年度4回の会議の中で話し合いました地域協議会の

制度案などを踏まえまして、地域協議会に関する条例を今年度中に制定することを目指し、全体の進め方ともあわせて説明させていただきたいと考えております。

さまざまな分野で活躍されています皆様方におかれましては、引き続きたくさんのご意見をいただくようお願いを申し上げまして、簡単ではありますがあいさつとさせていただきます。本日はよろしく申し上げます。

【事務局】

それでは、次第の1会長あいさつとしまして、加藤会長からごあいさつをよろしくお願いいたします。

【加藤会長】

改めまして、おはようございます。

昨年度は、地域協議会の制度に関する内容や、設立されている地域協議会が活動していく上での課題も含め、僕の想像以上に活発に意見を出していただき、いい話し合いができたと思っています。

今年度もそんなにかた苦しくない雰囲気であればと思っています。よろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

それでは、以後の司会進行につきましては、会長にお願いしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

【加藤会長】

では、会議を始めます前に、この会議は小牧市地域協議会推進市民会議設置要綱の第5条3項に基づき会議を公開するということになっています。本日は傍聴人が1名いらっしゃるということで報告いたします。

それでは、次第の2新任委員紹介ということで、事務局より説明をお願いいたします。

〔新任委員 紹介〕

【加藤会長】

ありがとうございました。1年間よろしく申し上げます。

では、次第の3、次第の4と、一括して事務局からご説明をお願いできますか。

〔事務局より資料1、2に基づき説明〕

【加藤会長】

ただいま説明のありました昨年度の会議の状況、それに対する新しい取り組み、それから各地域協議会の活動状況の報告がありました。

陶と篠岡と小牧原は地域協議会の会長がお見えになっていますので、補足がありましたらお願いします。また、他に確認したいことがあれば挙手をお願いします。

それでは、深堀委員をお願いします。

【深堀委員】

「しのおか おたすけ隊」の活動状況について、追加で説明させていただきます。

昨年度に発足して、17件の依頼があり、それに応える形で動きました。

実際にやってみてわかったことですが、依頼については外で行う剪定作業等が多く、昨今の気象状況で夏場がすごく暑くて、熱中症の危険性がありましたので、おたすけ隊をやっている方がほとんど高齢者ということもあり、夏場だけは皆様にお断りをする形で対応していきました。

それから、もう一つ私たちがやっていて気づかなかったのが、高齢者の方で窓拭きが自分でできない方がかなりいるということで、窓拭きを追加で対応しております。

今5月の半ばですが、今年度も4件既に活動を行っております。これから草取りの依頼が増えてくるかと思いますが、昨年度と同様に暑さを考慮して7月下旬頃から一部の依頼を一旦お断りして9月下旬ぐらいから再開という形になるかと思っています。ボランティア活動ですので、皆さんの健康を害さないように活動を行っております。参考までに紹介します。

【加藤会長】

ありがとうございます。多分、おたすけ隊というのが、日常の困り事に対して地域で解決するというダイレクトな課題解決型の取り組みだと思う

ので、積極的に取り組まれているのがすごいなと思いました。

では、吉田委員お願いします。

【吉田委員】

篠岡小学校区の深堀さんにお伺いしますが、会員は男女含め全員で何名活動していらっしゃいますか。また、作業内容がいろいろあるとおもいますが、何人ぐらいの方が実際の現場で作業を行っているのか教えてください。

【深堀委員】

現在、14名で活動しております。男性と女性の比率は、男性が4割で女性が6割となっています。外回りは、やはり男性が中心に実施しており、女性は草取りもお手伝いをしているような形です。

地域によっては、敷地面積が200坪とか300坪とかあるところもあり、草刈りについても基本的には1時間の活動でできることをやっていますが、男性を中心に人数を集めて実施しているところもあります。

本当はボランティアの人数をもっと増やしたいところですが、なかなか手を挙げてくれる人がいないため、ボランティアの増員というのが今後の課題になってくると考えております。福祉部会のメンバーを中心に、そこに加われる方に手を挙げてもらうような形で誘っておりますが、辛抱強くやっていくしかないと思っています。

【加藤会長】

ありがとうございます。

それでは、上坂委員お願いします。

【上坂委員】

地域協議会の取り組みとして防災訓練を中心に行われていますが、昨今の報道でもありますように交通安全についても取り組んでいく必要があると考えています。それぞれの協議会の方はどのように考えていらっしゃいますか。

【落合委員】

陶の協議会では防災訓練を実施しておりますが、交通安全に対しての運動は行っておりません。

ただ陶小学校区は、地域ボランティアの40名程度の方が小学生の登下校の見守りで、送り迎えをしていますので、地域協議会の方でそちらに参加しようという今の意思はありません。

【深堀委員】

篠岡小学校区ですが、篠岡地区はニュータウン地域と、旧の地域と両方の合体した形になっています。旧の地域の人たちは、子どもたちの登下校の距離がすごく長いというようなこともあり、2区から5人程度の交通委員の方で、子供たちの登下校を見守っています。

それから、ニュータウン地域の方ですが、交通委員、老人会の方が主要となる道路を渡るところ等に立って、登下校の見守りを行っていますが現状であり、改めて地域協議会で交通安全の組織を作る予定はありません。

【深谷委員】

小牧原小学校区については、こども安全プロジェクトチームを立ち上げて、小牧原小学校と協力し、下校時の子供たちの見守り活動を行っています。地域協議会の役員18名が、月に1回火曜日にあいさつ運動を行っておりまして、その日に低学年の下校時間に合わせまして、見守って行っております。

今後は、市が防犯カメラを通学路で6機設置していただけるということで、学校の方、PTAの方と協力して、設置する危険個所の検討を行い、そのカメラを地域の見守り等有効に使わせていただこうと考えています。

【加藤会長】

ありがとうございます。

地区のボランティア、それから交通委員、役員の方がそれぞれ個別に対応されているようなので、協議会として何もやっていないわけではないということですね。

それでは、小柳委員お願いします。

【小柳委員】

小牧原小学校区で学区一斉防犯パトロールをやってみえるということですが、時間帯、人数、コースについてはどのように実施されましたか。

【深谷委員】

こちらは平成30年度に初めて実施いたしました。小牧原小学校区は、12区あって、そのうち8区が自主的に防犯パトロール隊というのが組織されて活動されております。その方たちと合同で、地域全体を見守るということで、皆さんに集まり、一斉でパトロールを行うということで、小牧警察の方の協力も得てパトカー2台を出していただきまして、実施しました。

それで、今年青パトを地域協議会で1台用意しまして、小学校区内をパトロールできないかと計画しており、防犯パトロールプロジェクトチームで、話を進めております。それがどこまで現実的になるかわかりませんが、もしそれができるとするならば、12区の各地区の方に2日間実施していただければ24日間校区全体をパトロールできるんじゃないかということで、話を進めております。

【加藤会長】

ありがとうございます。

鳥居委員、お願いします。

【鳥居委員】

まず1点目が、報告です。本庄小学校区に私も関わっておりまして、この防災訓練ですが、要支援者の対応だけではなく障がい者の方にも防災訓練に関わってほしいということで、手話の団体をお願いして、いろんな話をするときには手話通訳ができるような体制をとっているということと、一般住民にも障がい者のことを理解していただくように、障がい者理解コーナーということで、車椅子体験等ができるブースを設けているということでやっております。

それともう一点、小牧原小学校区のゆるキャラについて、私はすごくいいなと思っております。なぜかということ、地域協議会が地域に理解されていない部分がまだまだあるなというところで、多くの方に知っていただくにはすごくいいツールかなと思っています。これを募集するに当たって、

何か募集するときのポイントや、今後どのようにそれを使って展開されるのかを教えてくださいなと思います。

【深谷委員】

これは、こども安全プロジェクトチームが中心となり、そして活動しております。

そもそもこのゆるキャラの発端はあいさつ運動から始まりました。あいさつ運動を行う中で、子どもたちを通じて地域協議会を認識していただくということになりまして、学校の協力を得て、夏休みの課題としてあいさつに関する標語と小牧原小のシンボルである大銀杏と水車をイメージしたゆるキャラの作成を依頼しました。それを地域協議会のメンバーが優秀作品を選定して、選ばれたのが「おおちゃん」「ハラショーくん」です。

校長先生と相談しまして、ゆるキャラと標語を掲載したクリアファイルを1000部作りまして、2学期の終業式に全校生徒にこれを配付させていただきました。これを家庭に持って帰られまして、親御さんを始めとしたご家族の方が地域協議会という組織があることを知っていただけるのではないかと考えています。

今年の卒業式には、式次第にこのゆるキャラを隅にプリントしていただきました。これは地域協議会からお願いしたわけではありませんが、校長先生の方で広めていただけるということで、このようなことを通じて少しずつ地域協議会を広めていきたいと考えています。

【加藤会長】

ありがとうございました。

坂下校長先生、何か補足があればお願いします。

【坂下委員】

例えばおおちゃんだと親指を立てているので、グッジョブというカタカナを添えたイラストをスタンプにしました。

ハラショーくんというのは、ロシア語ですばらしいという意味なので、上にすばらしいという言葉添えたスタンプを作成し、例えば算数のノート、書写のノート等に押しています。先生がすばらしいと字で書くのと同じくらいスタンプを押してあげると子どもも喜ぶし、親も見るとということ

で、スタンプを全職員に配って、どんどん押しあげて、子どもを励ましてあげるために活用しています。

そうすればもっとゆるキャラに対して愛着を持ってもらえると思いますので、このような形で活用させていただいております。非常にありがたいなと思っています。

【加藤会長】

ありがとうございました。すごくいい使い方ですね。このゆるキャラは他の学区でも参考になるかもしれないですね。

それでは、秦野委員お願いします。

【秦野委員】

本当に素晴らしい活動をされていて頭が下がります。まず一つは、そういった活動を行っていく上で、何か課題があれば教えていただきたいと思っています。

もう一つありまして、例えばこのようなイベントで外国人の方がどのように関わられているか、外国人に対して地域協議会の思いがつながるようなことをされているのかどうか、それも踏まえて今の課題みたいなことをお聞かせいただけたらと思います。

【加藤会長】

それでは、次は陶の落合委員からお答えしていただきたいと思っています。

【落合委員】

陶小学校区は、外国人がたくさんおります。おりますが、そういう方の加入とか、そういうことは考えておりません。今の状況では、多分声をかけても来ないと思いますし、地域活動について何かに参加している外国人がどれぐらいいるかという、まずいないと思います。日本語を読むことはできない方も多いので、回覧板などを渡してもなかなか読めないではないかと思っています。

また、課題については、防災訓練を毎年続けていますが、だんだん参加人数が少なくなっているように思います。毎年2月に実施しておりますが、時期の変更も含めて検討していきたいと考えています。

【加藤会長】

ありがとうございます。

それでは、篠岡小学校区の深堀委員、お願いします。

【深堀委員】

外国人の参加についてですが、外国人は今のところ地域協議会のメンバーとしては参加しておりません。ただし、この地域協議会を通じて、県住にお住いの外国人の方がたくさんおられるということで、消防団に加入するのを支援している形にとっています。

それから、区の行事で防災訓練、クリスマス会、餅つき大会では、外国人の方がたくさん来られております。子どもが親に声をかけて、子供について親も参加するという形になっております。

課題ですが、先ほど説明があったように、やはり地域の行事というのがマンネリ化するというのが一番大きな問題で、クリスマス会なんかは毎年毎年身を変えて更新するという形をとっています。

ただ、防災の取り組みとして、各区に自主防災会というのがございますが、この自主防災会のメンバーを集めて、消防署を講師として招き、自主防災会の役割について説明する場を設けました。各区の自主防災会は毎年変わるため、参加された皆さんは認識を改められ、非常に喜ばれたので、毎年続けていきたいと思っております。

もう一つあります。防災訓練ですが、どちらかというとな大人が主体になってやっているというのが今の現状です。たまたま篠岡中学校が、実際に東日本大震災のときに活躍された方を講師として招き、自主的に防災訓練を過去3年間やっております。私としては中学校の中だけでとどまってしまうのはもったいないということで、実は今年の広域防災訓練には中学校のメンバーを交えた形で実施してみようということで、計画を進めています。これがうまくいけば、小さいときから子どもたちの防災意識が高まっていくかなと思っております。

今年は、その中学校でやる防災訓練を小学校も連携させてやるということで、小学校も参加させる形で動いているそうです。だから、非常に嬉しく思っております。以上です。

【加藤会長】

ありがとうございます。

それでは、深谷委員お願いします。

【深谷委員】

課題については、まず協議会の認知度が低いということと、それにより各区長の協力が得られにくいということがあります。防災に関しては、理解が得られやすいので、どの地区からも特に抵抗なく進めることができます。ですが、高齢者支援を行っていく際に、民生委員の方にちょっとお願いしますという話をするわけにはいきません。区長を通して、民生委員にご相談したいんですが、なかなか理解してもらえず、話を進めることが難しいことが多々あります。

また小牧原小学校区では、地区によってはあると思いますけど、外国人のお話は一切今のところはお出ておりません。

【加藤会長】

ありがとうございます。

それでは、山井委員お願いします。

【山井委員】

私の方から光ヶ丘小学校区の活動を紹介させていただきます。

地域づくりミーティングが11月から始まりまして、市役所の担当の方もとてもおもしろくて、まず地域を愛するというので、その地域に何かあるか、いいところをみんなで出し合い、その中から同じような内容を集めました。

現在、安全マップを作成する部会が立ち上がっており、校長先生にもご協力いただいて、今、危ない場所を学校からも挙げていただくようお願いもしております、安全マップづくりに取り組んでいます。

また、私たちの地域は公園もいいところがたくさんあるので、そこから地域協議会を知ろうということで、ウォーキング部会というのを立ち上げて、月に1回ミーティングしながら、今度市民四季の森を目指して歩くウォーキング大会を実施する予定で調整を進めています。

【加藤会長】

ありがとうございました。

最後に、小柳委員お願いします。

【小柳委員】

スポーツ振興会との関わり方についてどのようにされているのか教えていただきたいと思います。

【深谷委員】

活動報告にも書いております新春ジョギング大会&ノルディックウォーキングは、スポーツ振興会が定例ですずっと行っておりました。昨年度、たまたまスポーツ振興会も、人の集まりも悪い、予算の関係もあるということで、それなら地域協議会と連携しようということで一緒にやらせていただきました。今年度も、事業計画に入っております。

スポーツ振興会の会長も、地域協議会の役員の特別役員という枠がありますので、実際に入っていてやっております。

【落合委員】

陶小学校区では小学校の体育館をお借りして、毎年ドッチビー大会を行っております。このドッチビー大会の審判を行う人、それからコートづくりを行う人、みんなこのスポーツ振興会の仲間で行っております。非常に助かっております。

【加藤会長】

ありがとうございました。

それでは、続いて次第5の資料3について、事務局の説明をお願いします。

[事務局より資料3に基づき説明]

【加藤会長】

ありがとうございました。

普通は、4～5ページの条例の内容をパブリックコメントでお示しをして、公開をして意見があればくださいというやり方ですが、事務局で工夫

をされまして初めて見る方でもわかりやすい作りになっていると思います。

また、お隣同士で5分話し合っただき、何かご意見等があればお願いしたいと思います。それでは、これから5分お願いします。

〔意見交換〕

【加藤会長】

時間になりました。2つ気を付けていただきたい点があります。

1つ目は、話しているところを資料の何ページなどきちんと伝えてなるべく手短かに話すこと。2つ目は、必ず否定をしない、提案型でポジティブに話すことを心掛けてください。

それでは、大杉委員お願いします。

【大杉委員】

私たちの提案は、4ページの5地域協議会の構成員は区域内の市民とされていますので、1ページのイメージ図の中で、地域協議会の下あたりに「構成員は区域内の市民」というところを入れてほしいです。

地域協議会の課題の中で、認知度が低いということもありました。したがって、特定の人たちがやっている地域協議会じゃなくて、構成しているのは、市民の中で協議会に参加される方はこういう方であるという表現の方がいいと思います。以上です。

【鳥居委員】

1ページの地域協議会の図柄が、ここに市民という部分が見えないので、ここの図の真ん中に「区域内の市民」という大きい言葉があるとわかりやすいと思います。

【加藤会長】

役員だけがやっているという図に見えてしまうということですね。非常にいい提案だと思います。

それでは、坂下委員と山井委員、何かありましたらお願いします。

【坂下委員】

1ページの(2)の少子高齢化とも関わるとはと思いますが、地域協議会の狙

いや願いといったことを入れるといいと思います。どんな子供を育てたいかという願いが地域にもあって、次の地域の担い手を育てるという部分があるからこそ、あいさつ運動をしていただいたりとかしていると思うので、その言葉が入るといいと思います。

【加藤会長】

ありがとうございます。

条例の本文そのものじゃなくて、パブコメの部分でも構いませんので、事務局でそれは考えてもらいます。

それでは、秦野委員お願いします。

【秦野委員】

条例の名称について、みんながやりたくなるような名称にされるといいなと思いました。

あと、4ページの3の認定要件(2)のところの「市の基準」について具体的に何かあるとわかりやすいと思いました。

最後に、地域協議会代表者会議やこの推進市民会議について条例や規則の文面に明記することも一つだと思いますがいかがでしょうか。

【事務局】

条例の名称については、ただいま検討中です。

市の基準につきましては、施行規則、ガイドブック等も含めての意味合いで書かせていただいております。

あと、代表者会議と市民会議を条例に位置づけるかというご意見についてですが、この条例につきましては地域協議会の定義を位置づけるということで考えておきまして、代表者会議と推進市民会議については条例や規則では位置付けず、別の制度方針等の見直しをする中で入れることを考えております。以上です。

【加藤会長】

それでは、一戸委員お願いします。

【一戸委員】

4 ページの 6 の地域協議会の活動のところですけど、広報や周知に関することを入れてはいかがですか。

【事務局】

その他地域協議会の目的を達成するために必要な事業だとか、そういった表現を入れるつもりではありましたが、そこで対応したいと思います。

【加藤会長】

それでは、宮嶋委員お願いします。

【宮嶋委員】

既に地域協議会と同じような組織が地域にある場合、その組織との整合性をどのように保っていくかが課題ではないかと思いました。

【事務局】

例えば、西部コミュニティと南部コミュニティには、地域協議会と似たような活動を中学校区で実施しているところは実際にあります。

今回、条例で認定する制度を設ける中で、時間をかけてそちらの中学校区でやってみえる団体については、話をしていくことを考えております。

【加藤会長】

ありがとうございます。

それでは、山田委員お願いします。

【山田委員】

1 ページの 1 の 2) で、「日常生活での困り事がふえるなどのさまざまな問題が深刻化していきます」ではなく、もう不安が高まっていますし、今さまざまな問題がもういっぱい「深刻化しています」と断言できるくらいの状況なので、そのような表記にしていきたいと思えます。

また、中学生はジュニア奉仕団というすばらしい活動団体があったり、実際に誉高校のように、ボランティア活動を一生懸命やっている学校もあり、担い手として中高生は非常にこれから有効な力になると思えますので、どこかに記載していただきたいと思えます。

【加藤会長】

ありがとうございます。

坂下委員の言われたことにもつながりますね。次世代の地域の担い手ということで、表現してもいいのかもしれないです。

それでは、小柳委員お願いします。

【小柳委員】

今の条例に定める内容についても、僕は特に大きな問題はないと思います。

今、協議会の設立に向けて調整を進めておりますが、活動する上で区長の協力は不可欠であると考えていますので、準備段階での議論がとても大事だなと痛感しています。

また、協議会の設立についても上手に地域に対してPRしていかないといけないと思いました。

【加藤会長】

ありがとうございました。

それでは、深堀委員お願いします。

【深堀委員】

2ページの3のタイトルですが、活動状況というと報告書のようなので、活動事例に言葉を変えてみたらどうでしょうか。

4ページの4の2区域等のところで、「一の小学校」と記載していますが、後ろが「1団体」となっていて、算用数字の1が記載されているのがわかりにくいと思いました。

あとは、この推進市民会議と地域協議会代表者会議と内容が被るのであれば、推進市民会議に協議会の会長を傍聴者として呼ぶのが一番効率がいいように感じました。

また、パブリックコメントを6月から実施するとありますが、普段から関わっていないとなかなかコメントが出しづらと思います。初めて見た人がどこまで意見を出せるような工夫したほうがいいんじゃないかなと感じました。

【落合委員】

私も地域協議会推進市民会議と代表者会議との区別がどのようになるかわかりにくいと思います。また、社協で開催されるサロン連絡会と日時が同じであり、その辺りの調整がされたかどうか教えてください。

【事務局】

この市民会議は様々な立場の方に出席していただきまして、その中でこの地域協議会という制度のあり方や、どうしたら市内全域で協議会の設立が進んでいくかといったところを一つの目的として意見をいただく場です。

代表者会議というのは、8つある地域協議会が意見交換を行う場であり、先進的な事例や困りごと等を共有していただく場と考えています。

今日お越しいただいている協議会の会長には、似たような内容をご説明するところがあり心苦しいところではありますが、目的がちょっと違うということでございます。

サロン連絡会については、社協の方が主催というところでそこまで調整しておりませんでした。今後は、どこまでできるかわかりませんが気をつけてやっていきたいと思います。

また、この「一の小学校区」につき「1団体」というところの漢数字と算用数字が混じっているところですが、一度確認をさせていただいて、正しい表現にさせていただきたいと思います。

【加藤会長】

パブリックコメントのやり方で、初めて見た人が理解できるのかという話で、説明会をする等の工夫したやり方をしてはどうかというご提案については、どうでしょうか。

【事務局】

条例や計画等について、市民に全体的に関わることについて広く市民の方に意見をお聞きした上で、進めていくのがパブリックコメントの制度です。現状では、広報やホームページ、あとは各支所の窓口、あとは協働推進課の窓口等で冊子を置いて、実際に見ていただき、ご意見をもらうという流れで実施しています。今のところは別で説明会を実施することは考え

てはおりません。

【深堀委員】

今、地域協議会を新しく立ち上げようとしている地域の代表者等にそういうところには説明をされてはいかがでしょうか。残り8校区というところですので、分担をするなどして説明へ出かけた方がより親切かなという感じがします。

【事務局】

現在、複数の小学校区におきまして、地域協議会の設立に向けて話をしているところでもあります。今の意見は私もそう思いますので、一度、そのようなことがあるということを、現在話を進めている小学校区の中心になっている方々にお話をしたいと思います。

【加藤会長】

ありがとうございます。

それでは、鳥居委員お願いします。

【鳥居委員】

1 ページのところで、「民生委員・児童委員など活躍されているさまざまの方が一堂に会して話し合いを行い」と書いてあるので、そういう役をやっている人しか集まらない会なのかというのを、私は言われたことがあります。本庄小では、参加したい市民の方も一緒にやれますよということで勧めています、その部分が今のままだとちょっと見えないので、普通の市民の方でも興味があれば、こういう協議会に関われるというような文面を入れていただけるといいと思います。

【事務局】

確かに、このイメージ図だと特定の団体だとか役をやっている方のみが対象のように見えます。

先ほど大杉委員からのご意見がありましたが、市民の方が構成員ですので、それも含めたような形の表現にできればと思っています。

【加藤会長】

全体をまとめますと、基本的にはこれでいいと思いますが、少し工夫をしてほしいところがあるということでした。市民が主役であるということがもう少しわかるような内容にするということ。

それからやはり地域に対しての周知の仕方とか広報などがすごく重要だという意見と、また若い世代、次世代の地域の担い手、そういう意味で中学生や高校生というのをちょっと特記して少しでも巻き込んでいけるような表現をしたらどうかという意見もありました。

また、条例の名称についてもより親しみやすいものに可能であればしていただきたいと思いますし、パブリックコメントの周知の方法についても可能な限り話を進めている地域の代表者に対しても事前に説明しておくなどのやり方を検討してはどうかという意見もありました。

僕が気になったのは、4ページの「地域の課題解決」とありますが、地域の課題だけじゃなくて魅力を話し合うとか、魅力を生かすことを話し合うというのだって十分な地域づくりだと思うので、その辺りについても参考にいただければと思います。

最後に次第の6今後のスケジュールについて、次第の7その他ということで、あわせて事務局からご説明をお願いします。

〔事務局より、資料4に沿って説明〕

【加藤会長】

何かご意見があればお願いします。

それでは、一戸委員をお願いします。

【一戸委員】

私は一番情報として知っておきたいのは推進状況ですね。現在、地域協議会の設立に向けてどのような状況で取り組まれているのかが見えにくいので、予定等をスケジュールに入れるなど具体的に会議の中で教えていただきたいと思います。

【事務局】

この会議が地域議協会を推進する会議ですので、一戸委員が言われたように、今どの小学校区でどのような話をしておりどんな状況といった話は、

重要なことと思いますので、事務局で検討させていただき、今後の議題に入れるなどの調整をしていきたいと思います。

【加藤会長】

それでは、進行を事務局にお返ししたいと思います。

【事務局】

加藤会長、進行をありがとうございました。

最後に、市長公室地域協働担当次長の入江よりごあいさつを申し上げます。

【入江地域協働担当次長】

本日、長時間にわたりまして様々なご意見をいただきまして、どうもありがとうございます。

今年度第1回目の会議ということで、今回は昨年度の振り返りや、地域協議会の活動紹介も含めまして、地域協議会に関する条例案のパブリックコメントを中心にご説明をさせていただきました。今回いただいたご意見などを踏まえ、今後パブリックコメントにより、市民の皆様からのご意見もいただきながら、よりよい条例になっていくように事務を進めていきたいと思っております。

今後もこの推進市民会議におきましては、地域協議会の設立推進、活動を活性化するための手法等を検討していきたいと思っております。

引き続き、委員の皆様には活発なご意見をいただきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

【事務局】

本日は、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございました。以上で全て終了とさせていただきます。お気をつけてお帰りください。